

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年4月8日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691700118
法人名	社会福祉法人 欣生会
事業所名	グループホーム 杜のかおり
所在地	鹿児島県志布志市有明町蓬原554番地6号 (電話) 099-475-2224
自己評価作成日	令和5年3月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成29年8月1日より開設。6年目のグループホームになります。当法人は「誠心」の理念の基に支援を行う事となっており、その中には地域の方への「おかげさまの心」を持ち関わっていくこととなります。地域の特徴としても畑がある田舎の風景が広がり、入居されている方も自宅で生活していた状況に近い環境で生活できていると思います。特別力を入れている事というわけではありませんが、「まずは受け入れる」姿勢を持ち支援に繋がっていると思っています。認知症の方への支援の中で、気持ちを受け入れる姿勢を持って関わりを持って行く事は大切な事でもあり、人の生活に携わっていく事を考えると重要な事と思われます。今後も、その気持ちを忘れず支援に携わる事が出来ればと思います。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は「誠心」おかげさまの心を基本理念として個々の人権を最大限に尊重した明るく豊かな生活の場の提供。地域住民、施設利用者を中心に個人が有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう援助、安心した生活が保てるよう、良質の介護・医療を提供し、地域の活性化に貢献することを運営方針としている。
- ・社会福祉法人が経営主体であり、法人内研修や外部研修参加など職員のスキルアップに努めており、有資格者も多く、サービスの質の向上が図られている。法人内移動や緊急時の協力体制も整っている。
- ・管理者は職員との信頼関係構築に努め、人事考課制度による年2回の個別面談の他、必要時に随時面談を行い、コミュニケーションを図っている。
- ・全体申し送りノートのほか、利用者個別の申し送りノートがあり、職員間の情報の共有がなされ、家庭的な雰囲気の中、ゆったりとした時間の提供と職員全体でケアに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・「誠心（おかげさまの心）」と理念があります。法人の理念と同じになりますが、同様の事を理念として掲げることが支援の幅、支援の質に関わるものとして考え、支援に繋いでいる。	法人理念「誠心」を事業所理念としてパンフレットや重要事項説明書・運営規程に記載。玄関・ホールに掲示している。朝礼時や会議で振り返りを行い、理念に沿ったケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	・地域集落の清掃作業への参加をする様にしている。事前に案内を貰い参加するようにしている。・運営推進会議で、地域代表の方に参加依頼してる。	自治会に加入、回覧板や年間計画にそって清掃作業や行事に参加している。運営推進会議に自治会長や民生委員の参加があり情報交換を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・地域行事の参加は清掃作業など、地域交流貢献の一つとして取り組んでいます。また、運営推進会議等で身近に認知症の方がいる場合等、必要な時は相談をして頂くようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営に関わる入居状況、要介護度、事故報告、行事、人員関係含め、報告する事や協力医、駐在所、行政より意見を求め、感染症状況、時事情報等を交換している。	運営推進会議は地域の代表が参加し、事業所の現状報告や取り組み・事故・ヒヤリハット報告・各委員会報告等を行い、意見やアドバイスを得て職員間で共有、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議に参加してもらい、意見をj得ている。又、質問事項等は確認し意見を得るようにしている。	運営推進会議での連携、メールやFAXでの研修案内や報告等があり、電話での相談や出向いての相談、最近は事故報告等もあり、日頃から協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・日頃の言動も含め注意し支援をしている。職員の言葉一つで行動を制限させてしまう事も含め、会議で話し合いをする事もあります。また、法人内の研修にて学ぶ機会もある。	指針・マニュアルがあり、法人で委員会を設置し、年4回開催している。事業所でも2ヶ月毎に委員会を実施し、事例検討や勉強会を行っている。スピーチロックを含め身体拘束ゼロを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・暴言、暴力、ネグレクトと虐待の種類はあります。研修等を含め対応していく事も虐待防止にも繋がってくると思われます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・法人研修等を通して、学ぶ機会を持っている。また、会議等を通して日々を振り返る必要がある事も伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時に契約書、重要事項説明書を説明し了承を得ている。また、要介護認定が変更された時、公的保険が外れた時にも、料金説明を行っている。</li> </ul>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見箱の設置</li> <li>・家族からの意見に対しては親身の対応している。運営推進会議等で家族からの要望については報告する事もある。</li> </ul>	<p>意見箱を設置している。毎月の電話での状況報告時に家族に意見や要望を聞くようにしている。コロナの影響で面会に関する意見や要望が多く、玄関カーテンの改善などにつながっている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事考課制度にて、アンケート、考課公表時に意見を求めるようにしている。また、普段の業務の中でも意見を受けようようにしている。</li> </ul>	<p>人事考課制度導入を行い、年2回個人面談を実施し意見や要望を聞いている。普段の業務中においても申し送り時や会議時に気軽に意見や要望が出せる環境づくりに努めている。出された意見や要望は会議等で話し合い、反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則、給与規定あり</li> <li>・職員が長く定着する事も含め、シフトの調整等を行っている。休息時間を設ける事も労働に対する負担の軽減につながっている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・法人内の研修、介護職員の処遇改善加算における勉強会等を設けたりしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・法人内の職員と研修会を通して交流を図る事は出来ている。 ・大隅介護事業所連絡協議会加入</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人に会い、実状を把握します。話を聞くことにより本人様との信頼関係を築きます。環境が変わることで変化がある為安心できるように寄り添います。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様は不安があると思うので話をしやすい雰囲気、環境作りをします。困っていること不安な事は、取り除けるようにできるだけわかりやすく話をしています。関係作りはホームでの様子を写真に残しているため、ご家族様に送付し、どのような表情で生活をしているのか、安心して頂けるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームでのサービスは限りがあるので、説明し理解して頂いています。ご本人の状態や家族の心境など配慮し、サービスに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることは自分でして頂き洗濯物畳みや食器の洗い物などは、職員と共にしています。入浴時等の着替えも出来ることはして頂き、共に行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族と連携を取りながら取り組んでいます。家族と共にご本人を支える事が出来るよう努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族や本人から聞き取り思い出の場所等にドライブに行くなど支援しています。</p>	<p>外出の機会は少なくなっているが、少人数でのドライブや電話の取次ぎ、家族の協力をお願いしての墓参りなど、人や場所との関係が途切れないよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者間での会話が弾むように職員が間に入り、話題や情報を提供しています。レクリエーションや行事等で関係が保てるよう配慮しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後は家族が不安になる為、気楽に相談できるような体制作りを努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・一人一人の思いや暮らし方の希望、意向は生活の中で聞かれる言葉や行動からひも解く作業を行ったり、日々の生活を観察する事での把握に努めています。又、ご家族様との話しの中からヒトを頂いています。	アセスメントや家族からの聞き取り、日常会話や入浴時などのリラックスしている状況で思いや意向を汲み取るよう心がけている。困難な場合は家族と相談したり職員で話し合い、本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・これまでの暮らしについては主に入居時に確認しています。又、必要に応じ、本人様やご家族様、居宅の担当ケアマネや前サービス利用施設等へ尋ね、確認することにしていきます。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・本人様の能力、事故リスクなども考慮しつつ、申し送り時や適宜行うケアカンファレンスにて現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・本人様、ご家族様、関係者様からの意見など収集し、原案作成を行い、検討の後、介護計画は作成しています。モニタリングについては上記同様、意見の収集並びに日々の支援経過記録を基に行うようにしています。	介護計画は本人・家族・主治医・職員からの意見を基に作成している。モニタリングは3～6ヶ月毎、ケア会議において実施、介護計画見直しは6ヶ月毎、状況に応じて随時見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の様子は支援経過記録や個人チェック表などに記入しています。又、入居者様個々の申し送りノートを作成し、ケアの実践結果の気づきや工夫などに漏れないように努めています。これらの記録の確認を行いながら意見の交換を行い、職員間の情報の共有を図っています。そしてより良い援助方法の実践に活かしています。</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>その時々生まれるニーズに対しては、情報・意見の交換などを行いながら柔軟な支援へと繋げていきます。柔軟なサービスの活用などについては課題となっています。</li> </ul>		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>同法人の小松の里も一つの地域資源と考えていますが、新型コロナウイルス感染症予防の為、その資源の活用や協働していく事は難しくなっています。</li> </ul>		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居申し込み時や契約時にご本人様、ご家族様へ協力医の説明を行い、納得、同意の上診察を受けて頂いています。又、私達は日頃から注意して体調を観察し、協力医に話す時は具体的に相談が出来るようにしておくことで、医療との連携が円滑に図れるよう努めています。そして24時間の連絡体制や緊急時の対応にも努めて頂いています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の同意を得て協力医がかかりつけ医となっている。訪問看護や主治医と医療連携を図り、24時間体制が取られている。他科受診は家族の協力を得ながら職員対応、歯科衛生士、薬剤師も関わり、緊急時も含めて適切な医療が受けられるよう支援している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・訪問看護事業所と連携を図り、健康観察、24時間の連絡体制、緊急時の訪問、対応に努めて頂いています。又、必要により、相談を行い、協力医とのパイプ役も果たして頂いています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院時には医療機関への情報提供を行っています。又、入院中は医療機関や家族との情報交換、相談など行いながら退院支援に努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・重度化や終末期に向けた方針などは入居時に説明させて頂いています。又、状態によって今後の予測など相談しています。その際に、ホームで行える事、難しい場合の提案などさせて頂いています。そして法人施設へ相談を行う事もあります。</p>	<p>指針・マニュアルがあり、入居時に説明、同意を得ている。状況に応じて主治医を含め段階的に話し合いを持ち、方針を決めている。家族の希望に添えるように法人全体で支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・入居者様の急変や事故発生時に備えて入職時に研修を行っています。日頃は医療との連携により、相談を行い、迅速に対応できるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練と定期的に防火設備の点検を行っています。又、地域の方にも協力依頼を行っています。園内研修でも災害について法人で取り組んでいます。</p>	<p>年2回、昼夜想定のうち1回は消防署立ち合いの避難訓練を実施している。近隣住民へ参加への案内を出しているが、コロナの影響で参加は難しい状況。緊急連絡網がある。法人で発電機の準備をしている。備蓄は3日分用意している。災害対策委員会で法人内研修を毎年実施している。災害発生時には地域無線放送で知らせがあり、近隣住民の避難場所として受け入れる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者が困っている時は後回しにせず、その場で傾聴し安心できるように声かけを心がけています。	マニュアルがあり毎年研修を実施している。人格の尊重とプライバシーに配慮した声かけや対応を心がけている。ホールでの申し送り時にはイニシャルやノート・指差しなどで行い、配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お茶は何にされるか、お手洗いはどうですか等、基本的にまず訪ねて選択して頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日10時頃にラジオ体操を職員と入居者様で行っています。又、一人一人に合ったレクを心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴の際は、一緒に洋服を選び、毎朝洗面、髪を研ぐ等支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭き、食器洗い、炒める、混ぜる等、できる事を一緒にして頂きます。又、一人一人、食事形態を刻み、ミキサー等分け、食べやすくしています。	食事の準備や下ごしらえ、行事食を一緒に作ったりして、できる範囲で一緒に行っている。食事形態の工夫、出前や外食、誕生会やクリスマス会のケーキ作りなど、食事が楽しみになるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量の確認を行い、一人一人の状態に応じて、刻みやミキサー職での提供を行っています。また食思低下の方には、栄養機能食品の提供を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	リフレケアやポリデントを使用し、本人の状態に応じた口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的に声かけし、トイレ誘導を行い、オムツの使用も減っています。	排泄チェック表を活用して日中は声かけやさりげない誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。夜間はパットの種類の検討、ポータブルトイレを個々に応じて使用し、おむつ費用削減につながっている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量や乳製品、食物繊維やイモ類の提供をしています。主治医へ報告し、連携を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の意思を尊重し、入浴支援を行い、楽しみながら入る事が出来ている。	入浴は午前・午後週2回実施。菖蒲やゆず湯・入浴剤を使用している。拒否のある場合は声かけやタイミングの工夫でできるだけ入浴できるようにしている。必要に応じて清拭や部分浴・足浴等で対応している。入浴中は会話を楽しみながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣、体調面を配慮しながら、安眠と休息の支援を行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、薬剤師に相談確認をしながら服薬している。また、訪問看護に相談をし、意見を得て医師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが楽しく生活を送る事ができ、行事で季節を感じる事ができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍であり、現在は厳しい状態ではありますが、密集を避けて外出支援を行っています。</p>	<p>コロナ禍で外出の機会が少なくなっているが、散歩や少人数での花見・自宅周辺や近くの公園・神社へのドライブなど、密集を避けてできるだけ外出の機会を設けている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>今現在は金銭を所持したいと希望される方がいないため、ホームで預かり管理している部分もあり、そこから買い物等行えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族とのつながりを大切に考えています。現状は難しい部分もありますが、電話の際は本人様の言葉を代弁して状況報告をすることもあります。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>限られた空間ではあるが、一緒に過ごす場所を選んでいただける配慮をしている。また、清潔感が保たれるようにし、不快感が無いように努めている。</p>	<p>共用空間は広く明るい。加湿器や空気清浄機を置き、大きな窓や天窓からの換気、室温湿度の調整を行っている。季節の飾り物や写真を貼り、対面キッチンで全体が見渡せる。ウッドデッキでは日光浴や茶話会を行う等、居心地よく過ごせる環境となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自身で過ごすこともありますが、一緒に居たい思いもあり、入居者同士で過ごされている。また、状況に応じて環境面の調整をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅より今まで使われていたものを持ってくることで、本人も安心して暮らすことができます。各居室にはご家族との写真があります。各居室の表札には、本人様が好きだった物や、イメージした背景のもとに名前が書いてあります。</p>	<p>居室にはベッドやエアコン・可動式タンス等を置き、写真やぬいぐるみなど馴染みの品物を持ち込み、居室の表札は個々にあった手づくりとなっている。本人にとって居心地よく過ごせるようになっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>季節に応じた壁画をホールに貼ることで、時期が分かりやすくなっていると思います。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない